

盲ろう者に対する理解を深め、盲ろう者の社会参加のために
通訳介助を行う人を養成する講座です！
みなさんも一緒に学びませんか？

受講者募集

2016年度 京都市

盲ろう者向け通訳・介助員養成講座

会場

京都市聴覚言語障害センター

(京都市中京区西ノ京東中合町2番地)

日曜日開催

午前10時～午後4時

7/17～12/11および1/15 (計14回)

※ 他に実習10時間実習・レポートあり

～盲ろう者向け通訳・介助員とは～

盲ろう者に対してコミュニケーションや情報入手に関する支援をしつつ、自由に外出できるように移動介助を提供する人のことをいいます。この通訳・介助者の存在があることで、盲ろう者のコミュニケーションの自由と移動、外出の自由が保障されます。



【 受講対象者 】

(下記(1)～(3)のいずれか該当される方)

- (1)手話で会話ができる京都市在住・在勤の聴覚障害者
- (2)京都市在住・在勤の京都府手話通訳者
- (3)京都市在住・在勤の手話奉仕員養成講座「基礎課程」修了者またはそれに準ずる程度に手話で日常会話ができる者

【 定員 】 30名

【 受講料 】 無料

※ただし、食事介助実習等実費は徴収いたします

【 申込・問い合わせ先 】

京都市聴覚言語障害センター

〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町2

京都市盲ろう者向け通訳・介助員養成講座

事務局

電話 : (075)841-8337

FAX : (075)841-8312

【 申込方法 】

必要事項をご記入の上、往復はがきにてお申込ください。

- ①氏名(ふりがな)
- ② 干、住所
- ③連絡先(電話/FAX)
- ④手話経験
(ア 手話で会話できる聴覚障害者、
イ 京都府手話通訳者、
ウ 手話奉仕員養成講座基礎課程修了者
またはそれに準ずる者)

【 申込締切 】 6月29日(水)
(消印有効)

*なお受講の可否については
7月上旬頃までにお知らせします。

2016（平成28）年度 京都市盲ろう者通訳介助員養成講座カリキュラム

日時		時間数	内容	
1	7/17(日)			開講式
		2	講義	盲ろう者概論
		2	講義・演習	盲ろう者疑似体験
2	7/24(日)	1	講義	盲ろう者の日常生活とニーズ I
		2	講義	盲ろう者福祉制度概論
		1.5	講義	聴覚障害の理解
3	7/31(日)	1.5	講義	視覚障害の理解
		2	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（概論）
		1	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点
4	8/21(日)	2	実技	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点
		2	講義	通訳・介助員の心構えと倫理
		1	講義	通訳・介助員の心構えと倫理
5	9/4(日)	2	講義	高齢盲ろう者の生活と支援
		1	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（触手話）
		2	実技	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（触手話）
6	9/11(日)	1	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（触手話）
		2	実技	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（触手話）
		5	講義・実技	移動介助実習Ⅰ 通訳・介助実習Ⅰ
7	10/2(日)	2	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（接近・拡大文字）
		1	実技	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（接近・拡大文字）
		2	実技	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（接近・拡大文字）
8	10/9(日)	1	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（触手話・手書き）
		1	実技	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（触手話・手書き）
		1	実技	盲ろう者の日常生活とニーズ II
		2	実技	盲ろう者のコミュニケーションの実習
9	10/30(日)	2	講義	盲ろう通訳技術の基本
		1	講義	盲ろう通訳技術の実際（グループワーク）
		2	講義	盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（まとめ）
10	11/6(日)	2	講義	通訳介助員のあり方（事例検討）
		2	実技	通訳・介助実習（ロールプレイ）
		1	講義・演習	通訳介助員のあり方
11	11/13(日)	5	講義	移動介助実習Ⅱ 通訳・介助実習Ⅱ
12	11/20(日)	5	実習	通訳・介助実習
13	12/11(日)	4	実習	通訳介助実習
		1	演習	盲ろう者の通訳技術と留意点（グループワーク）
				閉講式
14	1/15日(日)	2	講義	通訳・介助員派遣事業と通訳・介助員の業務（登録手続）